

心一つに ~one heart, one mind~

宮之城

~ 校訓：誠実・向学・鍛練 ~



令和2年度 第6号 [令和3年1月8日(金)発行]

〒895-1803 薩摩郡さつま町宮之城屋地391

Tel 0996(53)1587 / Fax 0996(53)0504

・HP <http://www2.satsuma-net.jp/miyanojochu/>

・ブログ <https://blog.canpan.info/miyachu/>

・E-mail: syoku-c-miyanojo@mail.satsuma-net.jp

自他尊重~Stand by me~



あけまして、おめでとうございます。本年もよろしく願い申し上げます。校長・野添 誠

令和3年(2021年)がスタートしました。冬期休業中に大きな事故や怪我、病気等もなく、本日の始業式で生徒達の元気な顔を見ることができたことを何よりもうれしく思います。

今朝は、生徒一人一人が新年の抱負を胸に抱きながら輝いて登校しているように見えました。

今年は丑年です。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢(耐える)」、「これから発展する前触れ(芽が出る)」の年と言われています。脱コロナに期待が高まります。

さて、私は、昨年4月の入学式や始業式の式辞で、生徒たちに1つのメッセージを送りました。それは「**自分自身を大切にしてほしい**」ということです。自分を大切にできる人が、他の人を大切にすることができるのだと思います。そんな人は、人の立場になって手助けできたり、相談にのってあげたりできます。全生徒が、そのような生徒に成長できれば、いじめのない楽しい学校生活をみんなが送れるものと確信しています。冬休みの期間に、「青天の霹靂」という映画を観ました。皆さんもご存知の「劇団ひとり」さんの小説を映画化したものです。思春期の中学生は、よく「自分は特別な人間だ」、「自分が生きる理由が分からない」、「これまで生きてきて何もいいことなかった。これからはどうなるのだろうか?」などと考えます。そのように考えるのは不思議なことではなく、とても自然なことなのです。

映画のラストシーンで、母親が自分の息子(母はそのことを知らない)に「私はどんな母でしたか。」と聞きます。息子は、「お子さんにとって、お母さんは生きる理由です。この子は、母親からどれだけ強く望まれてきたかを知ります。それからの日々がとても愛おしいものに思えてきます。だから、生きる理由なのです。お子さんは、生まれてきてよかった、と本当に思っています。」と答えてあげます。その後、母親は息をひきとります。

「自分自身を大切にしてほしい」と心から願っているのは、側にいる母親であり、父親であり、友であることにぜひ気付いてほしいと思います。

☕ 私の「指定席」と「自由席」

生まれてこの方、私たちはどのように席を決められていたのでしょうか。私の場合、小学校から高校までの12年間は、時々、席替えはあったものの、席は決められていました。言わば「指定席」で授業を受けてきたわけです。これが大学に入ると一転して、授業ごとに席は自由ですから、かえって戸惑うこともありました。そして、就職するとまた「指定席」に逆戻り、今は、校長室の机が私の指定席です。

校長室の指定席に長く座ると考えることが多く、責任という圧力に、時々押しつぶされそうになることがあります。その時は校長室を離れて、校舎内外をぶらぶらしながら、心が和む落ち着ける場所(自由席)を探ることがよくあります。

私の一番のお気に入りの自由席は、女子ソフトボールグラウンドのサード側後方(卒業記念樹にあるところ)の置石でしょうか。そこに座ると、防柵金網を通して、Uカーブする川内川の流れや遠くは紫尾山の山頂を眺めることができます。屋地の町並みも見ることができます。

天気のよい放課後に訪れると、後方から野球部、サッカー部、ソフトボール部、陸上部、剣道部、卓球部など、生徒の活動する元気な声が聞こえてきます。また、吹奏楽部の生徒が奏でる美しい音色も聞こえてきます。私にとっては元気をもらえるパワースポットであると言っても過言ではありません。人生において、心の指定席(安心感と責任感)と自由席(開放感)の両方をもつことは、楽しく人生を送る秘訣だと思います。

生徒たちにとって、指定席は家庭や故郷(さつま町)にあることと思います。素敵な自由席を、あなた自身で見付けてください。



原子力災害を想定した避難訓練

本校は川内原子力発電所から約2.5kmに位置しており、原発から半径30km圏内の緊急防護措置区域(UPZ)に入ります。そのため、川内原子力発電所で災害が起こり、放射能が漏れたという緊急連絡があった場合、本校では生徒を一旦屋内(体育館)に集め、保護者へ確実に引き渡さなければなりません。

そこで、万が一に備え、11月14日に原子力災害の避難訓練と保護者への引渡しを実施しました。本校では初めての実施であったため3年生の保護者を対象に検証しました。来年度は、学年を拡大して実施する予定です。



学校行事等の様子



生徒会あいさつ運動



生徒総会



1年平和学習



P T A 奉仕作業

部活動の県大会等での活躍

- 鹿児島県中学校剣道新人大会(12月13日)女子の部 第3位 ※九州大会への出場権を獲得
 - 第1回大会始良カップバレーボール大会(11月23日) 女子バレー部 優勝
 - ・最優秀選手賞 ●●●● ●●●●
 - ・優秀選手賞 ●●●● ●●●●
 - 男子バレーボール 北薩摩リーグ大会(12月6日) Aパート 優勝
 - 鹿児島県中学校陸上競技大会(11月1日)
 - ・男子2, 3年砲丸投げ第1位 ●●●● ●●●●
 - ・男子2年100m 第2位 ●●●● ●●●●
 - ・女子2, 3年走り幅跳第3位 ●●●● ●●●●
 - ・男子400mR第2位 ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
- ※【注意】生徒の個人名は、個人情報保護のため、●●●●で表示しています。



受賞おめでとう!

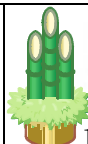
- 税に関する作文コンテスト
 - 川内税務署長賞〔3年〕 ●●●● ●●●●
 - 協議会会長賞〔3年〕 ●●●● ●●●●
- 第16回さつま美術展 最優秀賞〔3年〕 ●●●● ●●●● 優秀賞〔1年〕 ●●●● ●●●●
- かわなべ青の俳句審査 特選〔2年〕 ●●●● ●●●●
- 第73回鹿児島県書道展 南日本書道会賞〔3年〕 ●●●● ●●●●
- 県作文コンクール審査 特選〔1年〕 ●●●● ●●●●
- さつま町読書感想文コンクール
 - 最優秀賞〔1年〕 ●●●● ●●●● 優秀賞〔2年〕 ●●●● ●●●●
 - 〔3年〕 ●●●● ●●●●
- 明るい選挙啓発ポスターコンクール 特選〔1年〕 ●●●● ●●●●
- 第25回トンボロ芸術村コンテスト〔絵画部門〕 【団体賞】さつま町立宮之城中学校 銅賞〔1年〕 ●●●● ●●●● M B C 賞〔2年〕 ●●●● ●●●● K K B 賞〔1年〕 ●●●● ●●●●

〔税に関する作文〕
校長室での表彰式
R2. 11.17 →



1・2月の主な行事予定

- 1月13日(水) 県学習定着度調査～14日
- 1月19日(火) 宮中7/30(17時下校)
- 1月24日(日) 私立高校入試開始
- 1月28日(木) 生徒会学級学校専門部会
- 2月 4日(木) 公立高校推薦入学検査
- 2月 9日(火) 学年末テスト(～12日)
- 2月16日(火) 〔3年〕 学年P T A
- 2月24日(水) 〔1・2年〕 学年P T A
- 2月25日(木) 生徒会学級学校専門部会



立派な門松ができました!

12月13日、さつみや会の皆様が立派な門松を作っていただきました。また、当日はP T A環境整備部の方々による奉仕作業も実施され、校舎の窓ふきや体育館裏側に設置されているコンクリート柵のペンキ塗りをしていただきました。年の瀬の多用の時期に誠にありがとうございました。年始まで正門に飾らせていただきます。

